令和５年　機関紙　冬 vol.70

みだい

発行日　令和５年１月
発行所　社会福祉法人　山梨県手をつなぐ親の会
み　だ　い　寮
山梨県韮崎市旭町上條南割３５６１－１
TEL 055-285-4292　Fax 055-285-4293
http://y-tewotsunagu.or.jp/midai/
発行者　施設長　篠　原　　宏

みだい寮施設長　**篠　原　宏**

日々寒さを増し本格的な冬を迎えています。ウインタースポーツの好きな方にはたまらない季節ですが、寒さの苦手な方にはつらい季節でもあります。みだい寮では家族会の支援もあり今年度空調設備を全面的に入れ替え、利用者の皆様により快適な生活を送っていただいて（電気代が心配ですが・・）います。

さて、新型コロナウイルス感染症の終息がなかなか見えません。みだい寮でも夏に放課後デイサービスの職員と利用児が感染し、秋には入所の職員と利用者の感染がありました。養護者さま、関係者の皆さまには大変ご心配とご迷惑をおかけしました。幸い重篤な症状の方もおらず何とか凌ぎましたが、感染したご本人はもとより、介護をする周りの関係者が大変だということをつくづく感じました。インフルエンザを含め今後も感染症予防に努めていきたいと思います。その中でも、納涼祭（梨の実寮グランドでの大輪の花火の打ち上げが素晴らしい）、秋祭り、レクレーション、クリスマス会、新年会等スタッフが工夫を凝らし楽しい毎日を過ごしています。まだまだコロナ前の日課には戻りませんが、来年こそ「当たり前の生活を当たり前にする」ことを願い日々進んでいきたいと思います。

【新任職員挨拶】

支援員　**中山　裕貴**

本年度の7月より勤務しております、中山裕貴と申します。大学で社会福祉を専攻した後に医療機関等で勤務をしておりましたが、その中で日常の生活の場である地域や施設等で利用者の方々に寄り添ったサポートを行う仕事をしたいと考えるようになり、現在はみだい寮東棟で支援員として勤務しております。

未だ日々の支援業務に取り組むことで精いっぱいであり試行錯誤している段階ではありますが、少しでもはやく利用者に信頼される支援員になれるよう努力してまいりますので利用者やご家族の皆様にはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

支援員　**横小路　大也**

令和4年9月より、みだい寮の支援員として仲間入りをさせて頂きました、横小路と申します。未だコロナ禍で制限される事も多い中ですが、利用者の皆さんと様々な活動を共に行い、充実した日々の生活が送れるよう支援させて頂きたいと思います。初心を忘れず、緊張感を持ちながらも、皆さんに笑顔で楽しく毎日を過ごして頂くため、沢山の会話をし、コミュニケーションを取る事を常に心掛けていきたいです。未熟者ではございますが、どうぞ宜しくお願い致します。

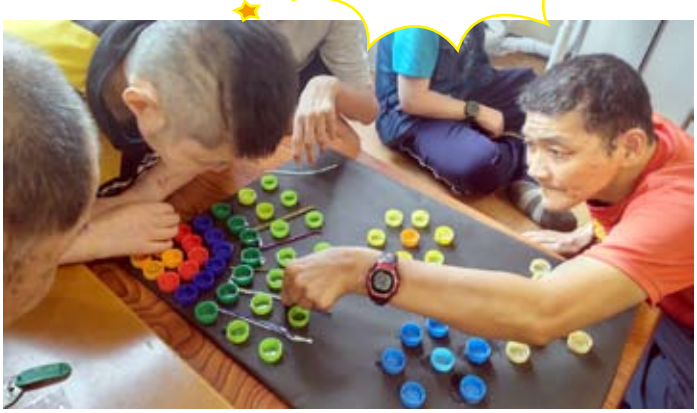
支援員　**村田　雅生**

12月より働かせて頂いております。以前も介護の仕事をしていましたが、5年ほどブランクがあり、今までと違うことも多いので、不安も多いですが、ガンバっていきたいので、よろしくお願いします。

＊利用者さんの日常の様子＊

作品展に向けて
制作中・・・

ペットボトルの蓋で
花火を描きました！

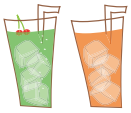


♪行事ハイライト♬

開所記念

みだい寮誕生！35年目を迎えました。

沢山のごちそうを頂きました☺



どれにしようかな…

納涼祭

浴衣を着てお祭り気分♪

秋まつり

お目当てのお菓子をねらって…

わなげゲームをしました！

秋のレクレーション

✻✻✻ 令和５年　１～６月の行事予定✻✻✻

１月　利用者新年会	４月　お花見
２月　節分	５月　障害者スポーツ大会
３月　利用者お楽しみ会	６月　支援協会交流スポーツ大会

令和４年７月～令和４年12月までの苦情解決

社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会における『苦情解決の仕組み』を利用しての苦情解決はありませんでした。

みだい第70号

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今期は開所記念、納涼祭等多彩の行事の様子をハイライトでお伝えできればと、たくさんの写真を掲載いたしました。利用者の皆さんが楽しんで頂けるよう、職員一丸となり工夫を凝らし開催しました。「楽しかった！」「また、やって欲しい」との声を聞くたびに、私たち職員の励みにもなります。

11月からコロナに翻弄されたみだい寮ですが、何とか踏ん張りました。終息を願いながら、利用者の皆さんの暮らしが笑顔であふれるよう、今年も職員一同努力を続けて参ります。

編集後記　**青島・中澤**